

金まであとひとつ！

編集：山本広報・尾形強化スタッフ

平成27年10月6日(火)

【タイムスケジュール】

6時～朝食
8時 ホテル出発(送迎バス)
9時 国立体育大学到着
10時～15時 試合 (13時大河内選手帰国)
17時～17時半 女子ダブルス表彰式
18時半 ホテル到着、洗濯、買い出し、夕食等

梶下コーチコメント

男子シングルス準決勝は2面続きのコートには日本代表メンバー同士の対戦でした。
決勝に進んだのは、親松、梶下です！
鈴木、松下の3位決定戦はないので…銅メダル確定です。
女子シングルス準々決勝の村山は第2シード台湾の選手にストレート負け。豊田も台湾の選手に敗退、
日本女子代表のシングルのメダル確保はなくなりました。ミックスダブルスは、梶下・山口が銅メダル確定。
決勝に親松・村山が進出です。
男子ダブルスは、第1シード・第2シードがW/Oの為 親松・鈴木VS松下・梶下の決勝となりました。
厳しいコメントにはなりますが…
今日の女子シングルの試合を振り返り、アジア大会のレベルの低を感じました。それに勝てない代表女子の
今後の取り組み練習方法など検討しないといけないと思います。
アジア大会…他の種目のレベルはわかりませんが、世界大会の選考会とは思いますが、
4年に1度の運動会(親睦会)なのではないかと思えます。大会運営もセレモニーもしっかりとした大会なのに、
選手の技術レベルが低いのでは？と感じられました。レベル自体が上げれば、最高の大会になると思います…
男子に明日の決勝での素晴らしい試合を期待します。
サッカーの日本チームから話を聞きましたが、底辺の人数がテニスより多いことが分かりました。
なかなかJリーグまで行く選手は出ないみたいな話でした…
テニスの底辺が少なくとも取り組みを変えれば、男女とも世界一が出せるはずだと思います。

【試合】 結果・選手コメント

男子シングルス

○梶下怜紀 3-0 ret ●松下哲也

＜梶下選手コメント＞

万全の準備をして試合に入りました。最初の3ゲームいいプレーができたことはよかった。
相手が棄権したことで、いい状態をキープできたのでそれを次につなげたい。

＜松下選手コメント＞

シングルスは訳があって棄権し、男子ダブルスに集中しようと意気込んでいたら、相手の中国ペアの
一人が棄権してしまい、ダブルスは不戦勝となり試合はありませんでした。
明日は最後の試合になるので、思い切りやっていきます！！

○親松直人 2-0(7-5、6-1) ●鈴木裕将

＜親松選手コメント＞

最初は固かった。同じ日本のメンバーが相手だったのでやりにくかった。1st2-5から最後まで諦めずに
ボールを追いかけて気合いで勝ちました。次の決勝も頑張ります！！

＜鈴木選手コメント＞

1セット目をとるチャンスがあるのに、攻めきれなかったことが敗因だと思います。
ダブルス決勝戦があるので、気持ちを切り替えていきたい。

男子ダブルス

○親松直人&鈴木裕将 不戦勝 ●PRASHANTH & SEKHAR(インド)

○梶下怜紀&松下哲也 不戦勝 ●TANG & YANG(中国)

女子シングルス

●豊田恵子 0-2(4-6, 3-6) ○HO Chiu-Hsiang(台湾)

〈豊田選手コメント〉

1ポイントとるのに時間がかかり、また相手に気持ちよく打たせる展開をなかなか変えることができませんでした。引き出しの開きが悪かった感じで、自分の未熟さを痛感しました。

●村山奈留美 0-2(4-6, 0-6) ○LIN Chia-Wen(台湾)

〈村山選手コメント〉

悔しいです。自分の中では集中していたつもりだったけど、実際は集中できていなかった。相手が強打してくると、自分もそれに対抗してしまっていた。冷静にロブやドロップ等を使えばよかった。



豊田 vs Ho (台湾)



村山 vs Lin (台湾)

ミックスダブルス

○親松直人&村山奈留美 2-0(6-4, 6-4) ● LIN & LIN(台湾)

〈親松選手コメント〉

もっと楽に勝てる試合だった。ミスが多かったが、しっかり作戦を立て、ポイントをとっていき勝てたのでよかった。明日の決勝も頑張ります！

〈村山選手コメント〉

メンタル面でペアにすごく助けられた。シングルの敗戦をひきずっていた。相手の男性を狙っていたが、けっこう打ってくるので動揺したが、ペアが引っ張ってくれたおかげで自分を取り戻すことが出来ました。

●梶下怜紀&山口華恵 0-2(2-6, 0-6) ○WANG & HO(台湾)

〈梶下選手コメント〉

台湾のベテランの力を見せつけられた。コンビネーションプレーができなかったのが敗因でした。

〈山口選手コメント〉

相手はショットの質が高く、コンビネーションが出来ていた。パワー、スピードがありそれに対応するのが精一杯でした。力を出し切ったが、相手との力の差を見せつけられた。今後もっと練習を積み重ねていきたい。



親松・村山 vs Lin・Lin (台湾)



梶下・山口 vs Wang・Ho (台湾)

斎藤監督のコメント

今日は、女子シングルスベスト4、男子ダブルスファイナル、ミックスダブルスファイナルに懸けた試合でした。まず女子シングルスは豊田選手、村山選手が出場してベスト4に懸けて全力を出し切って頑張ってきて！と激励しました。結果は残念ながら敗退してしまいました。私から見ると今のままの女子レベルではまだまだアジアトップレベルには達しないと感じました。男子ダブルス戦、ミックスダブルス戦ともファイナルに進出しました。引き続き明日も応援よろしくお願いします。